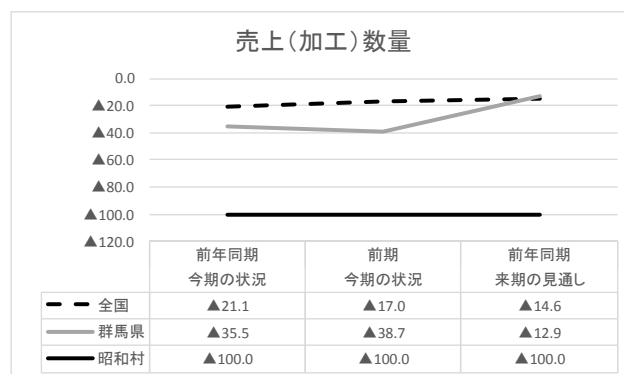
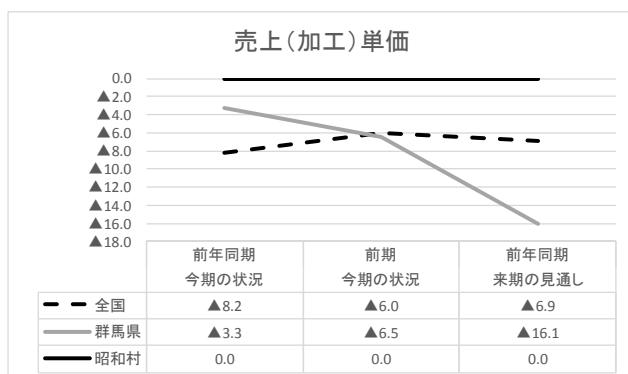
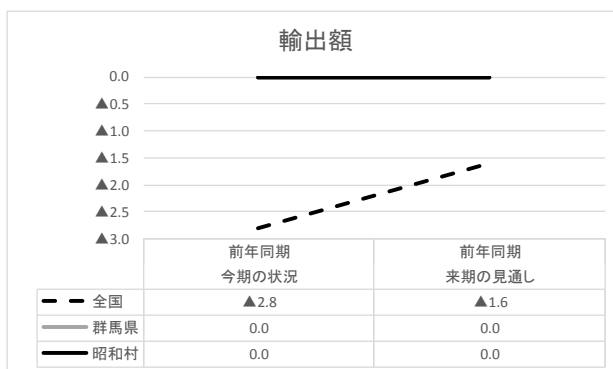
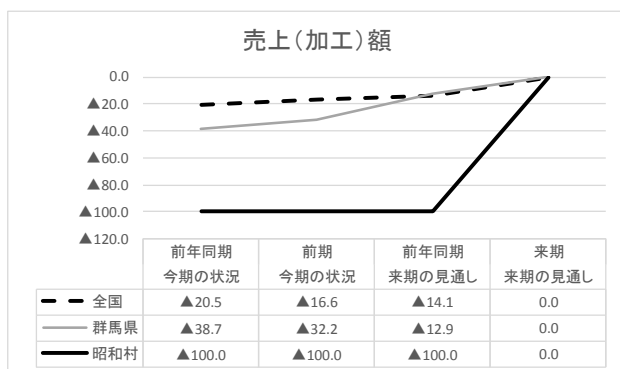


### 3.3 中小企業景況調査（平成 28 年度第 2 四半期）

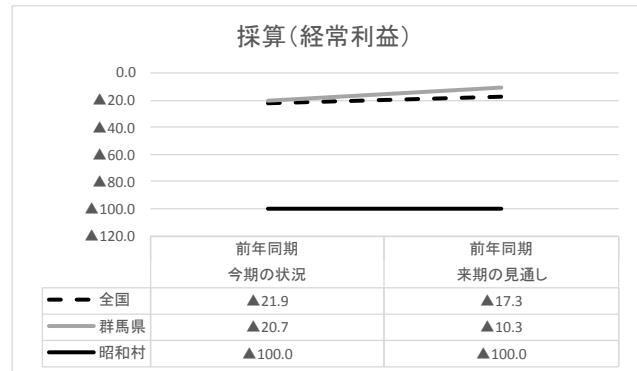
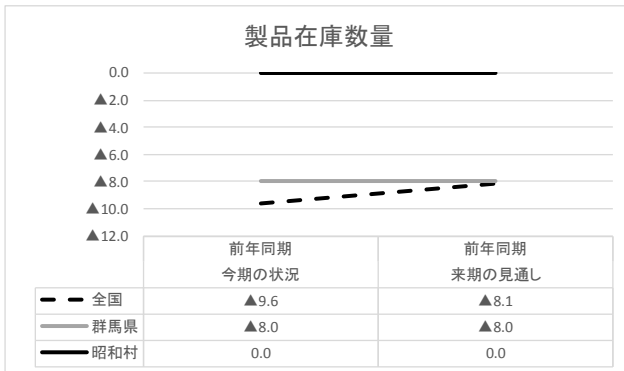
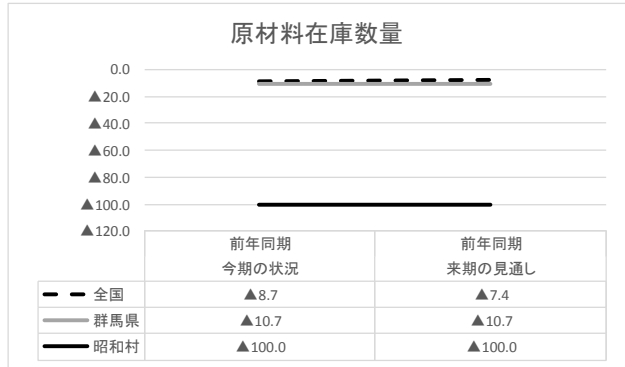
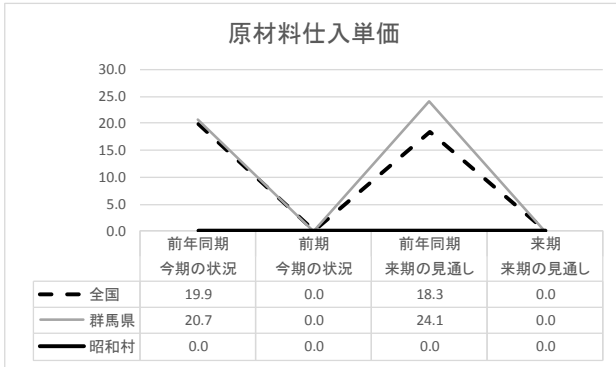
調査数	14 社（内、製造業 1 社、建設業 6 社、小売業 2 社、サービス業 5 社）
調査票	8.3「小規模企業景気動向調査の調査票」による
調査期間	平成 28 年度第 2 四半期
調査方法	調査員による直接ヒアリング方式
集計・分析者	本事業の専門家である 5 人の中小企業診断士
比較	国・群馬県のデータは群馬県商工会連合会から入手

#### 3.3.1 製造業

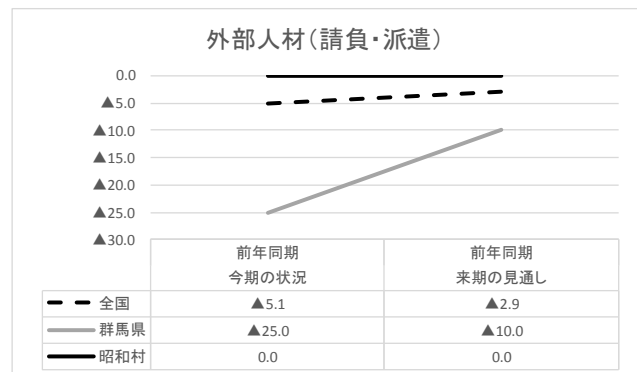
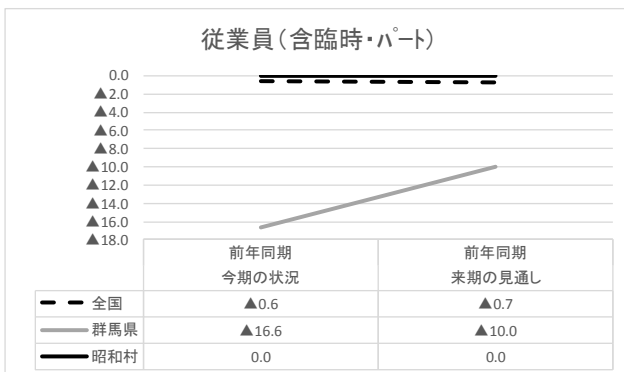
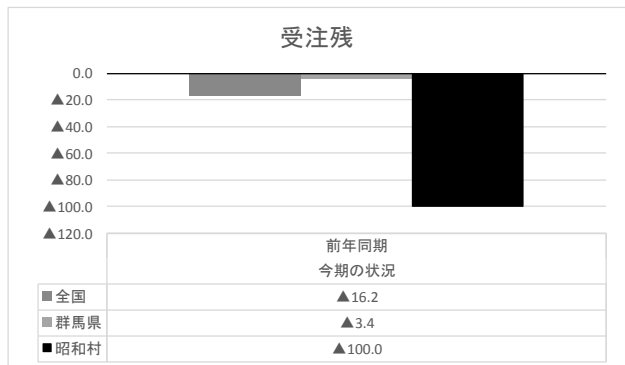
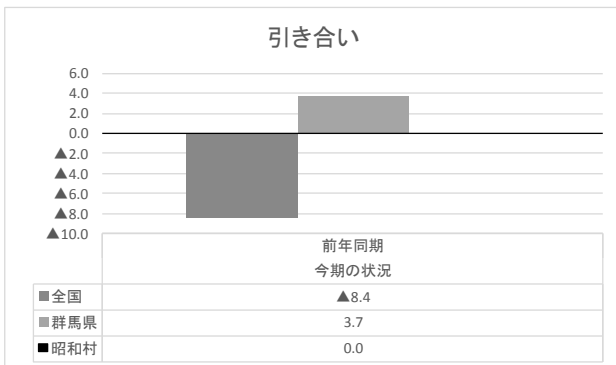
売上について、全国と群馬県、加工の額、数量において今期と来期ともに景況感が良い結果となっているが、昭和村は厳しいと判断している。輸入額と加工単価は変わらない。



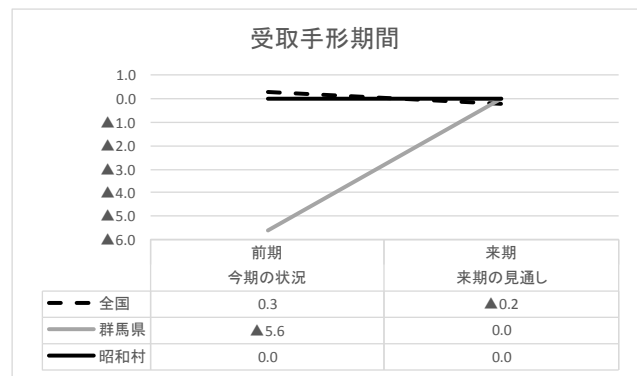
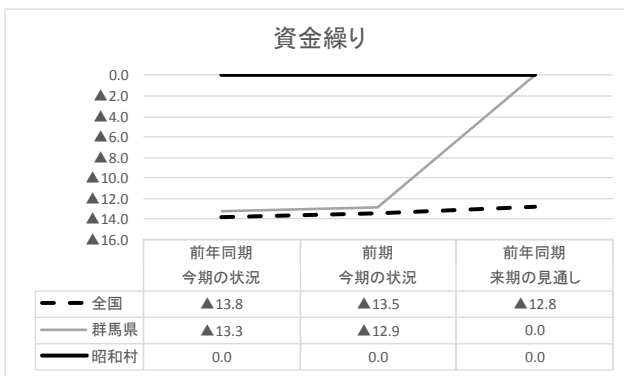
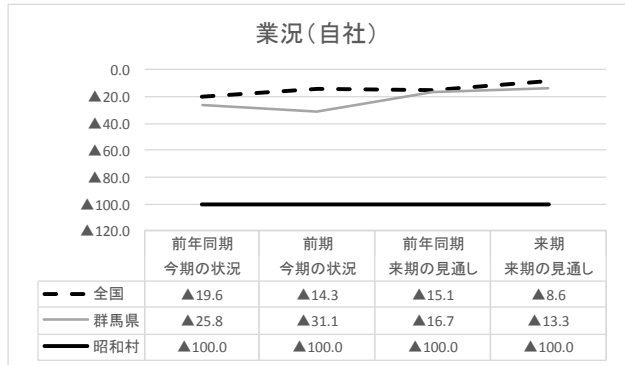
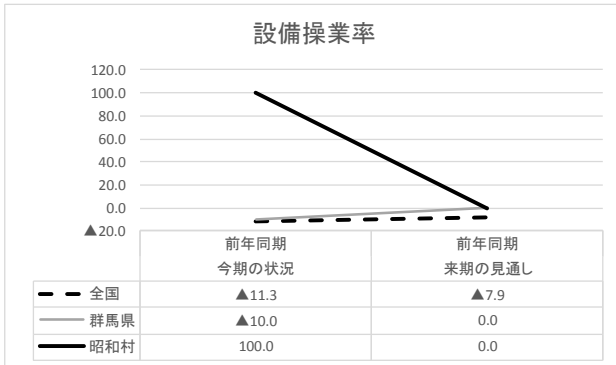
原材料在庫数量、経常利益については、全国と群馬県は少し改善傾向であるが、昭和町においては厳しい状況である。原材料仕入れ単価、製品在庫数量は変わらないと判断している。



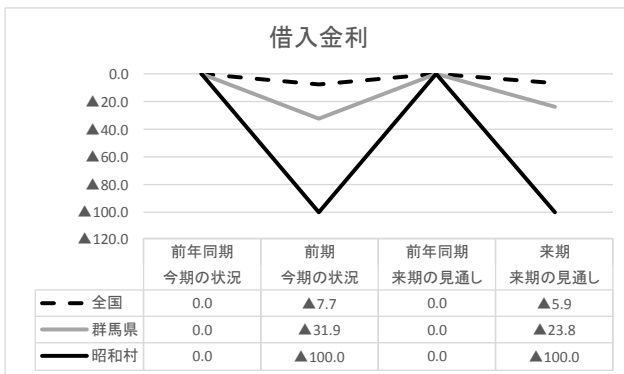
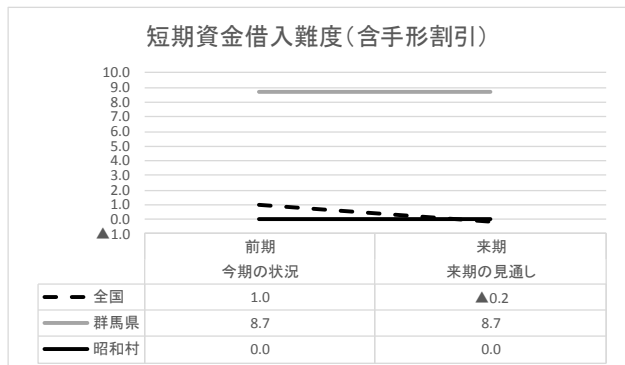
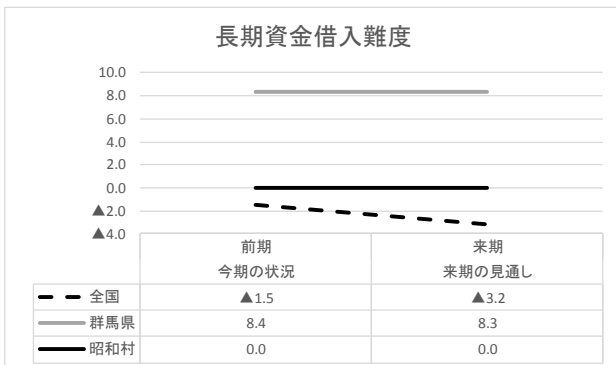
引き合いは全国と比べて昭和町は高いが、前年と比べて変化ないと判断している。受注残は全国と群馬県と比べて低く、従業員は変わらないと判断している。



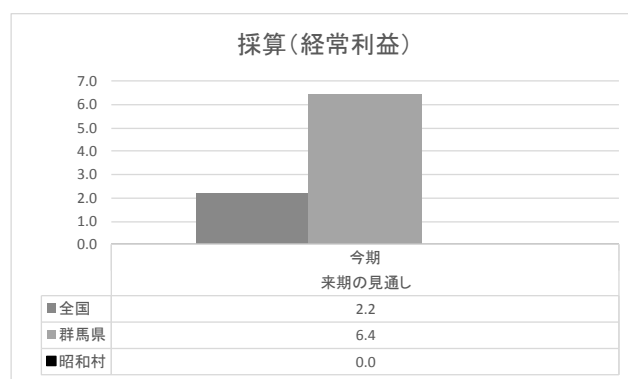
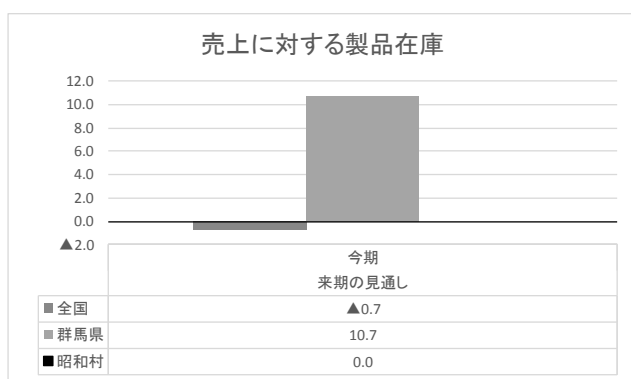
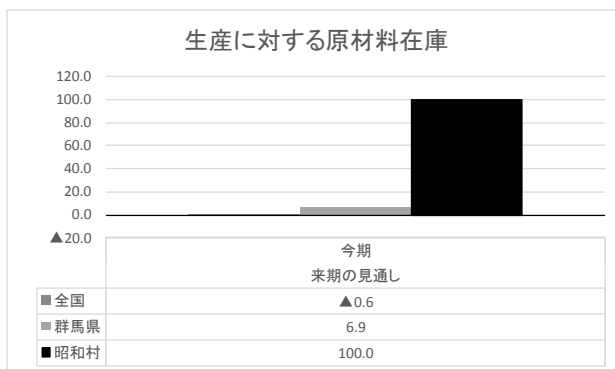
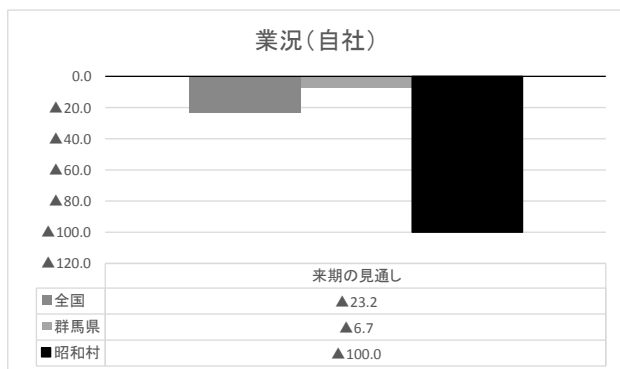
設備稼働率と資金繰りは全国と群馬県と比べて高いが、業況は全国と群馬県とに比べると低い。



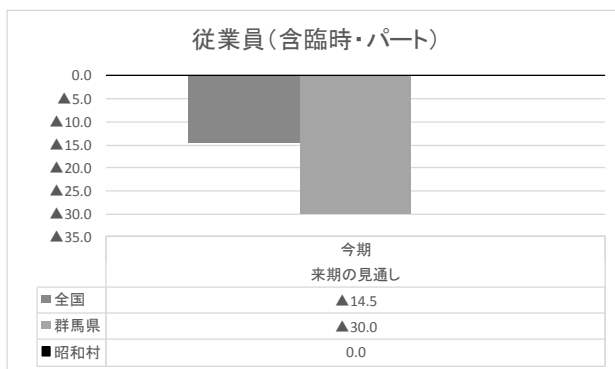
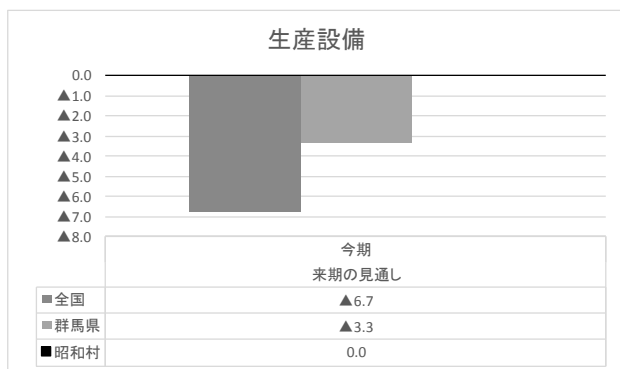
長期資金借入難度、短期資金借入難度共に変化なく、県より低い。金利については低下傾向である。



業況、生産に対する原材料在庫は全国に比べると低く、売上に対する製品在庫、採算は適正だが全国、県より低い。



生産設備、従業員は全国と県に比べて良好で適正な状況である。



新規設備投資について見ると、今期は「生産設備」、来期は「工場建物」と「生産設備」を予定している。

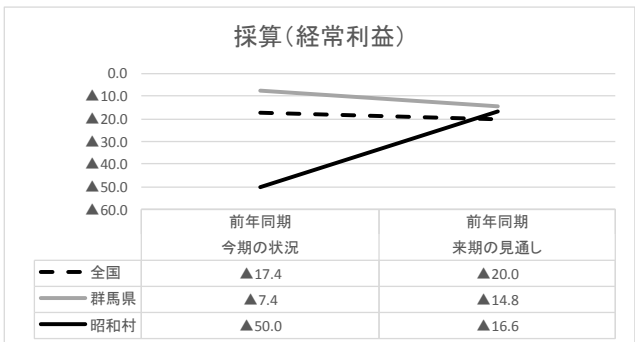
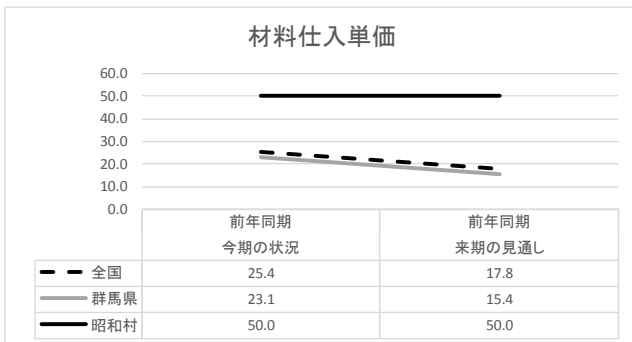
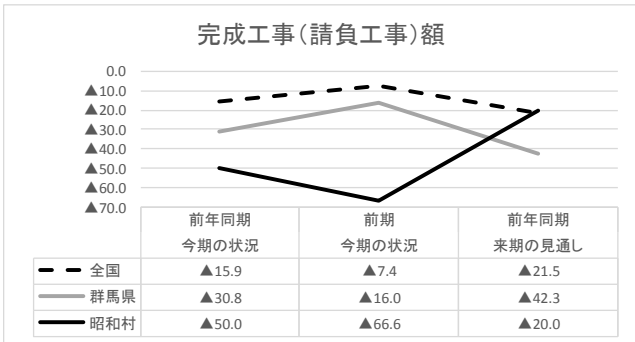
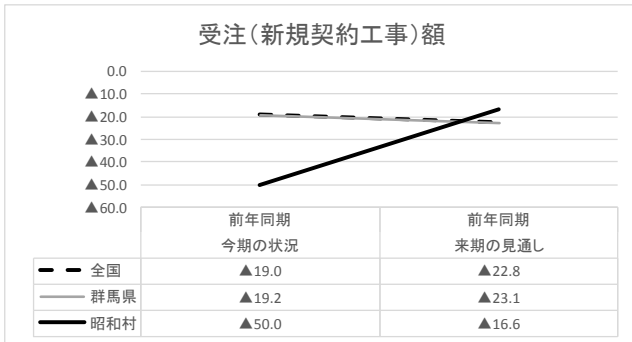
		新規設備投資									なし
		あり	投資内容								
			土地	工場建物	生産設備	車両・運搬具	付帯施設	OA機器	福利厚生施設	その他	
今期実施	全国	15.7	5.3	15.0	54.7	20.6	10.5	18.6	4.0	10.5	84.3
	群馬県	22.6	14.3	14.3	42.9	42.9	14.3	0.0	0.0	14.3	77.4
	昭和村	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
来期計画	全国	15.9	4.0	12.8	65.2	12.4	13.6	14.0	2.8	8.8	84.1
	群馬県	35.5	18.2	0.0	63.6	0.0	9.1	0.0	0.0	9.1	64.5
	昭和村	100.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

最後に、今期直面している経営上の課題を見ると、「生産設備の不足・老朽化」、「熟練技術者の確保難」、「需要の停滞」があげられている。群馬県とほぼ一致した内容である。

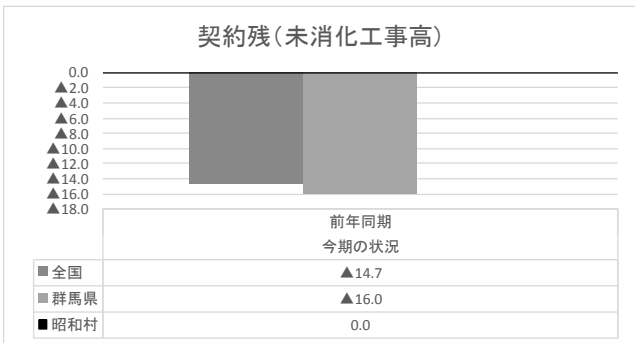
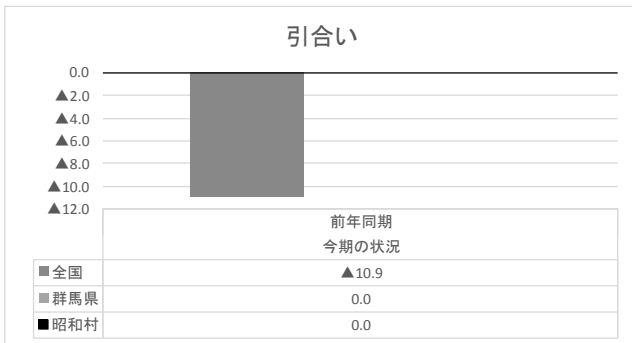
全国	1位	需要の停滞	40.4
	2位	生産設備の不足・老朽化	31.5
	3位	製品ニーズの変化	27.9
群馬県	1位	生産設備の不足・老朽化	32.1
	2位	熟練技術者の確保難	32.1
	3位	原材料価格の上昇	28.6
昭和村	1位	生産設備の不足・老朽化	100.0
	2位	熟練技術者の確保難	100.0
	3位	需要の停滞	100.0

### 3.3.2 建設業

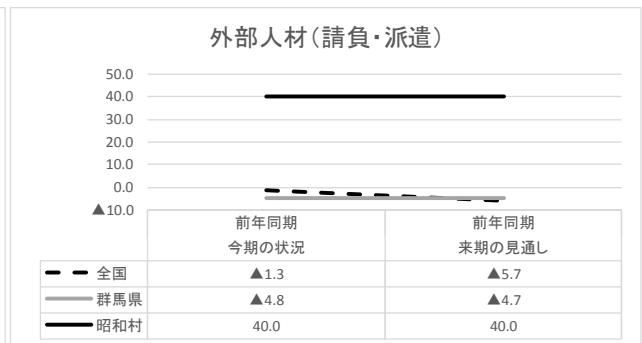
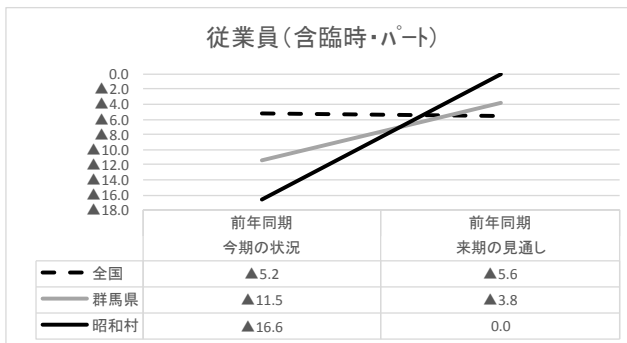
受注額は新規契約工事と請負工事ともに、全国と群馬県と比較すると、景況が悪化しており見通しは変わらずである。材料仕入単価と採算は今期においては厳しく、来期も変わらない見通しである。



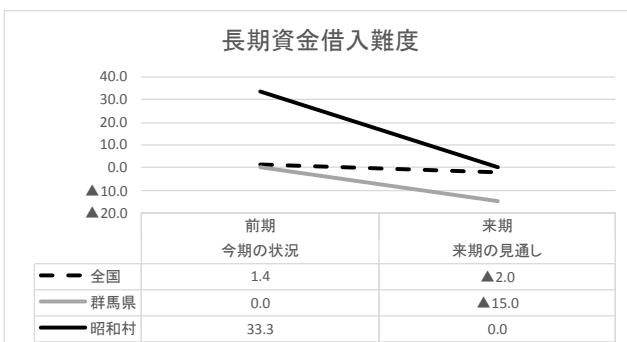
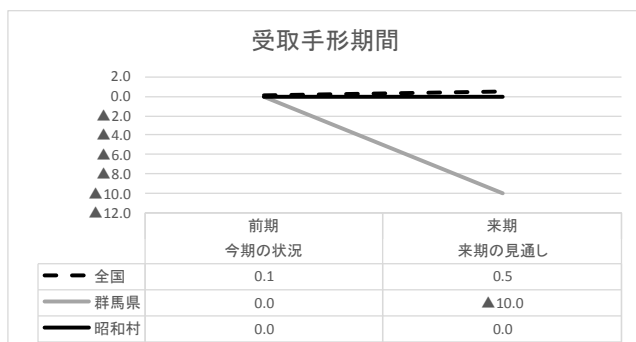
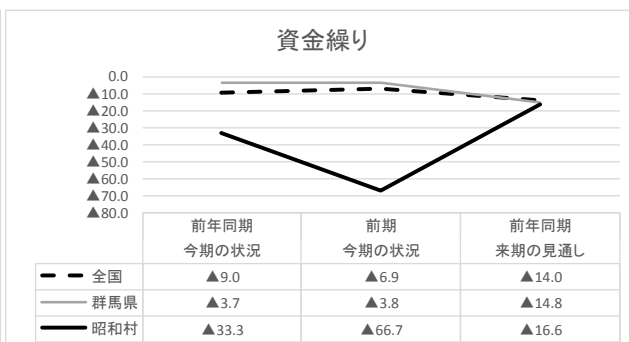
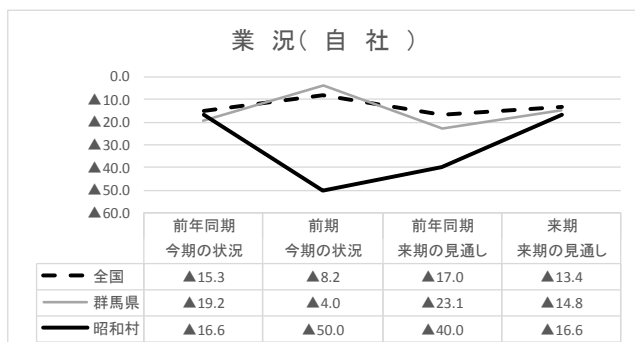
引合いについては、群馬県と同じく変わらない状況であり、契約残については前期と変わらずという状況にある。



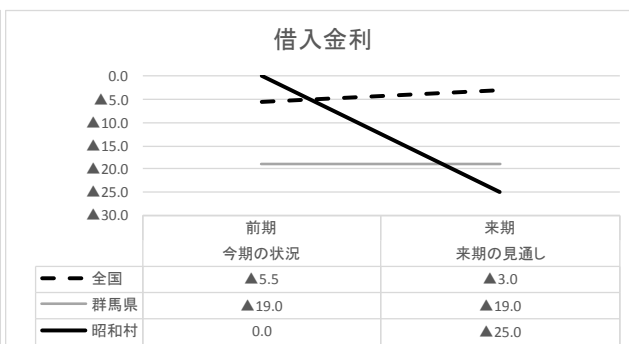
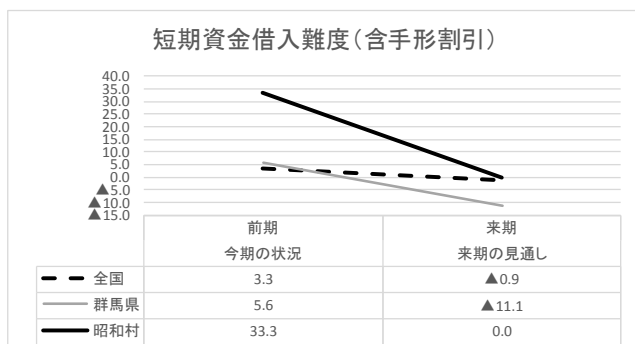
従業員数は全国と群馬県と比べて若干悪く、外部人材が増える傾向である。



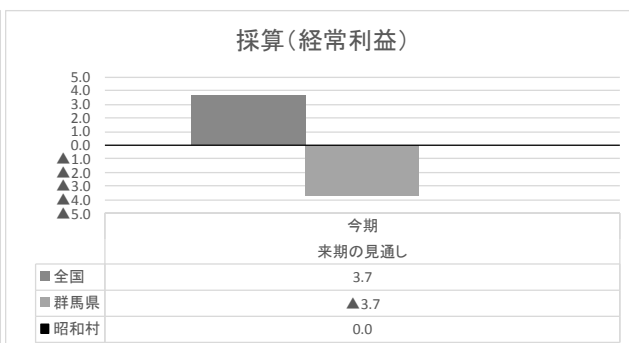
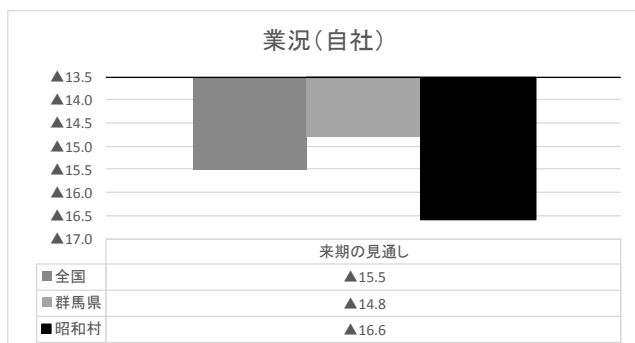
業況と資金繰りは全国と群馬県に比べて大きく悪化している。受取手形期間と長期資金借入難度は群馬県よりもよく、全国と同水準にあるが良くない。



短期資金借入難度は長期資金借入難度と同様の傾向にある。借入金利は全国、県と比べて悪化する見通しである。



業況、従業員については全国と群馬県に比べて悪く、採算、引き合いについては変わらない見通しである。



新規設備投資は今期、来期ともに、全国と群馬県よりも高い結果となっており、「工場設備」「生産設備」「車両・運搬具」を予定している。

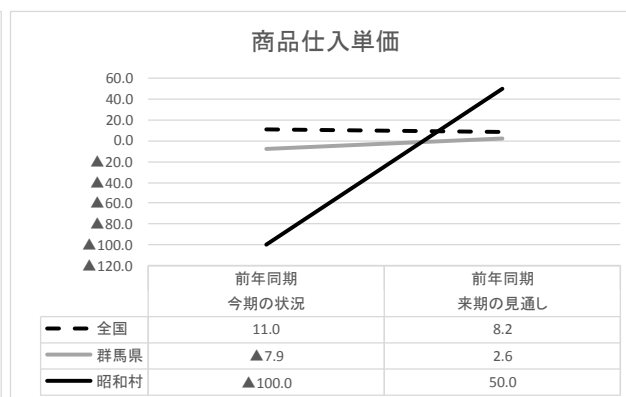
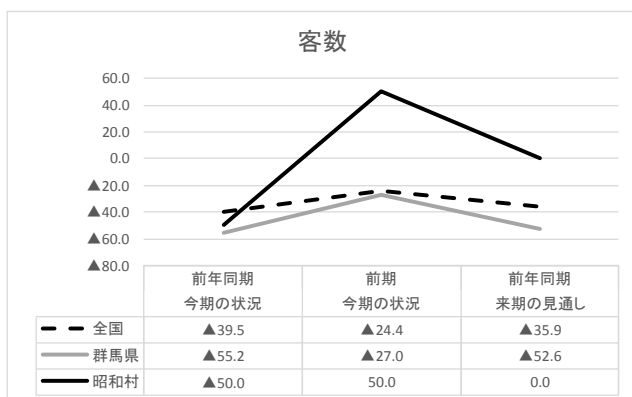
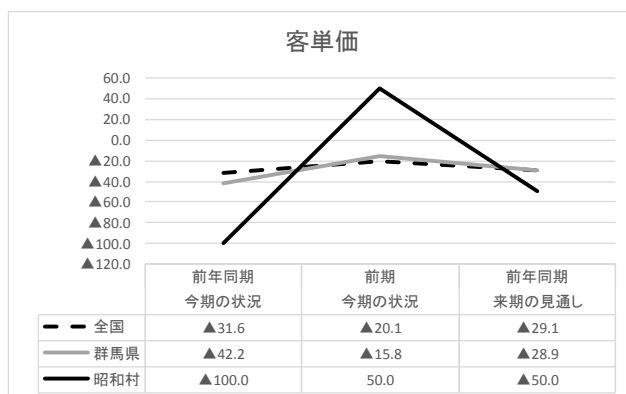
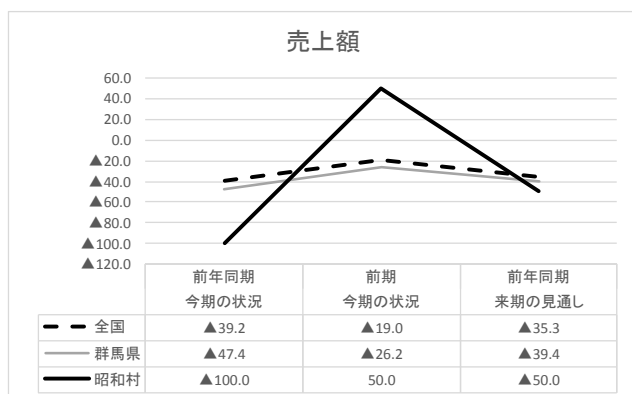
		新規設備投資										
		あり	投資内容									なし
			土地	工場建物	生産設備	車両・運搬具	付帯施設	OA機器	福利厚生施設	その他		
今期実施	全国	15.4	8.2	8.2	23.1	47.8	4.9	25.8	1.6	7.7	84.6	
	群馬県	29.6	0.0	12.5	25.0	50.0	0.0	12.5	0.0	12.5	70.4	
	昭和村	33.3	0.0	0.0	50.0	100.0	50.0	0.0	0.0	0.0	66.7	
来期計画	全国	11.9	15.6	22.7	30.5	42.6	7.1	13.5	2.1	9.9	88.1	
	群馬県	18.5	20.0	20.0	0.0	60.0	20.0	20.0	0.0	20.0	81.5	
	昭和村	66.7	0.0	25.0	50.0	75.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	

最後に、今期直面している経営上の問題点を見ると、全国では「民間需要の停滞」が最も高いが、昭和村では「従業員の確保難」が最も高く、次いで「官公需要の停滞」、「下請単価の上昇」となっている。

全国	1位	民間需要の停滞	40.6
	2位	官公需要の停滞	36.7
	3位	熟練技術者の確保難	27.2
群馬県	1位	従業員の確保難	37.5
	2位	材料価格の上昇	33.3
	3位	官公需要の停滞	33.3
昭和村	1位	従業員の確保難	28.6
	2位	官公需要の停滞	21.4
	3位	下請単価の上昇	14.3

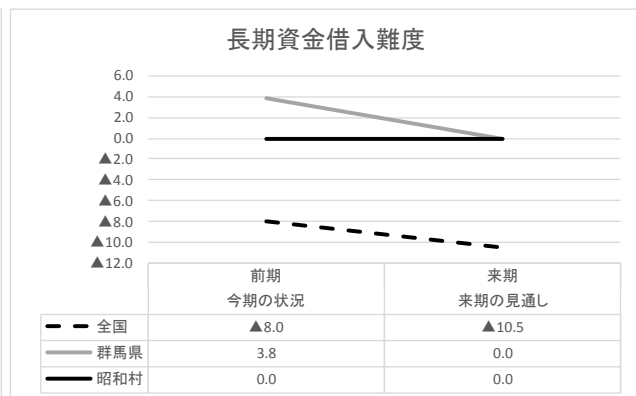
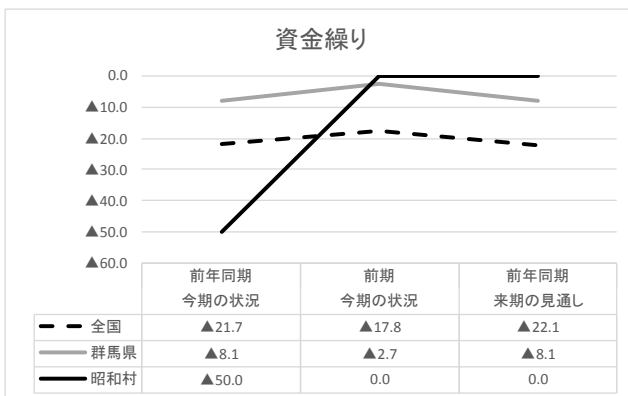
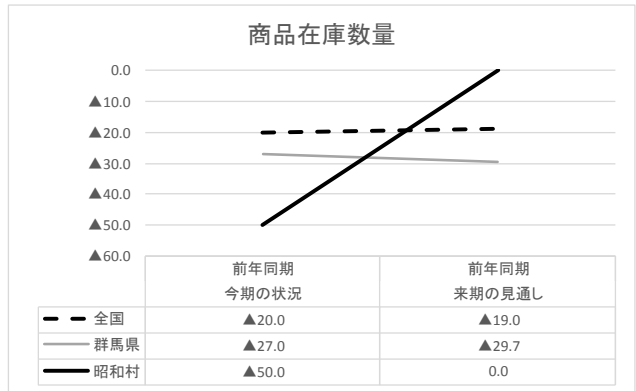
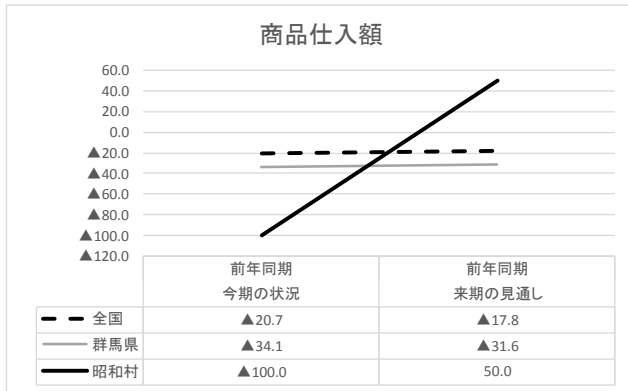
### 3.3.3 小売業

売上高と客単価と客数は、全国と群馬県に比べて見通しはよくない。商品仕入単価は上昇傾向にある

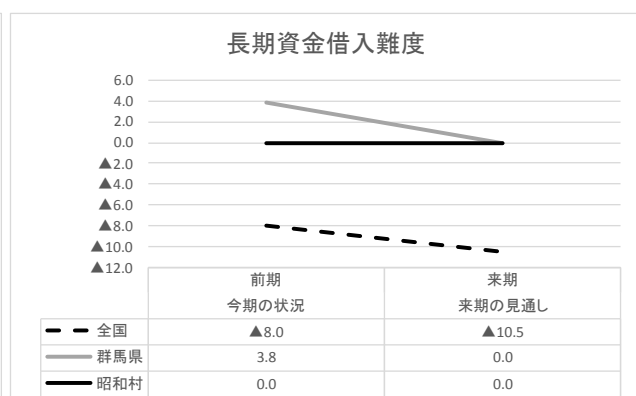
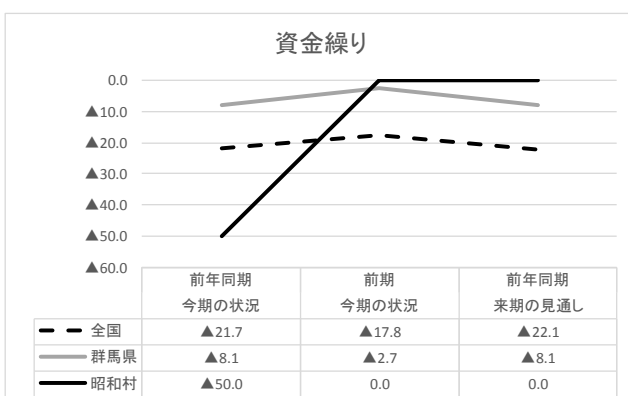
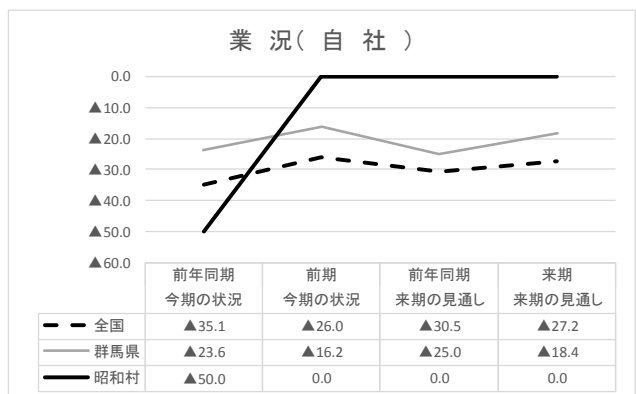
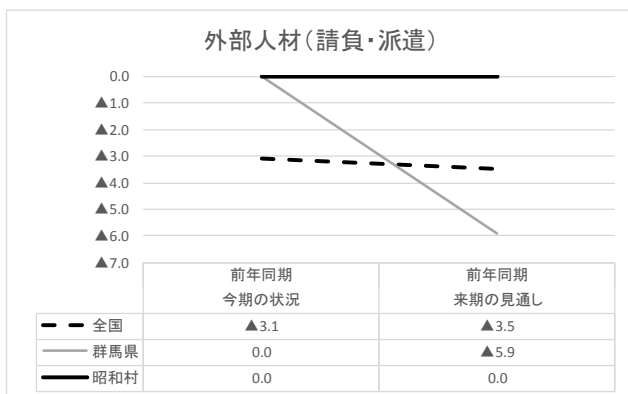


商品仕入額、商品在庫数量、採算は、全国と群馬県に比べて悪く見通しは変わらない。従業員については全国、県よりは高いが見通しは悪い状況にある。

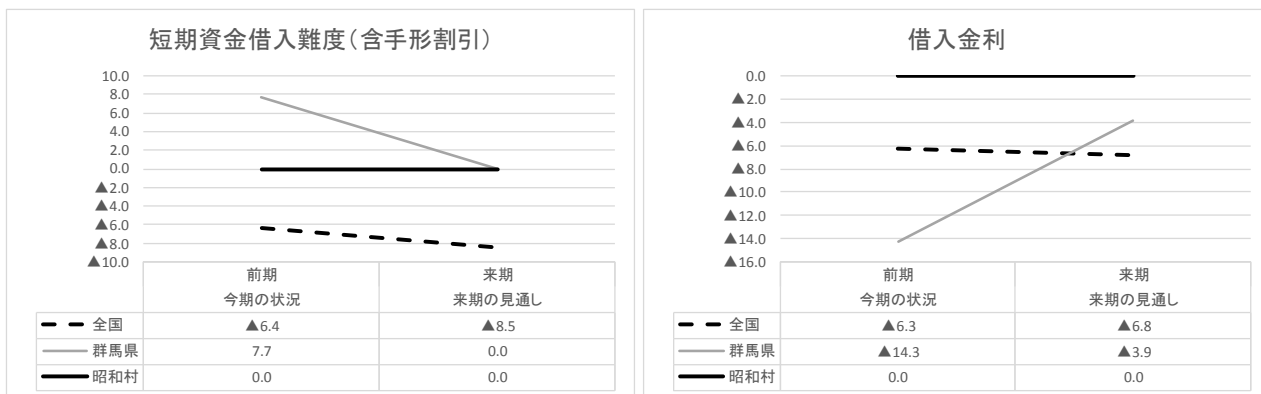




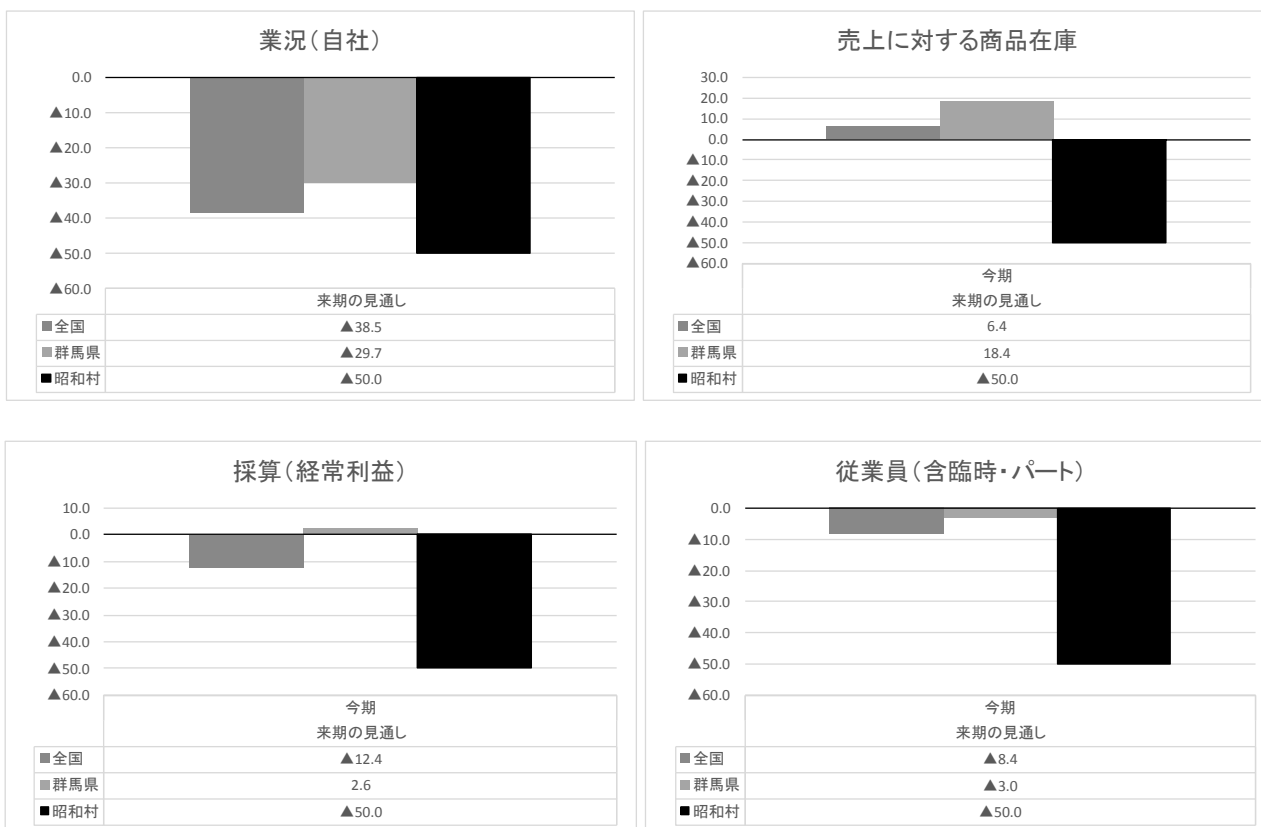
業況、資金繰りは、全国と群馬県より悪く、見通しは変わらない。外部人材、長期資金借入難度は変わらない見込みである。



短期資金借入難度、借入金利は全国と比べて良いが、見通しは変わらない。



業況と採算、売上に対する製品在庫、従業員は全国と群馬県に比べて悪い状況にある。



新規設備投資は今期については「工場建物」が挙がっており、来期について予定はない。

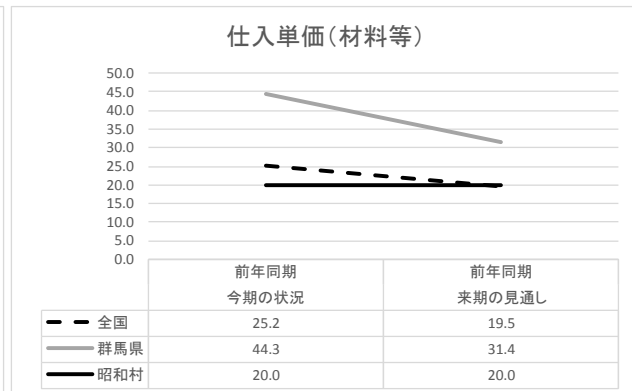
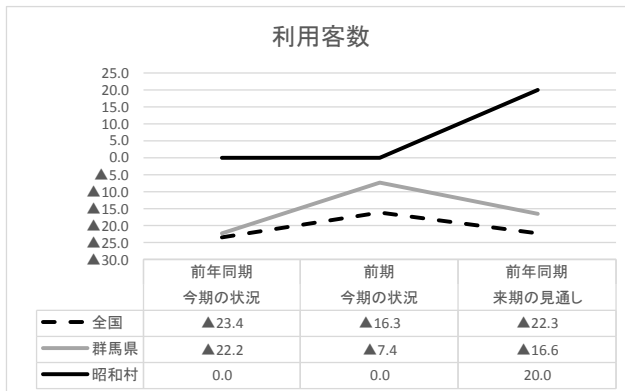
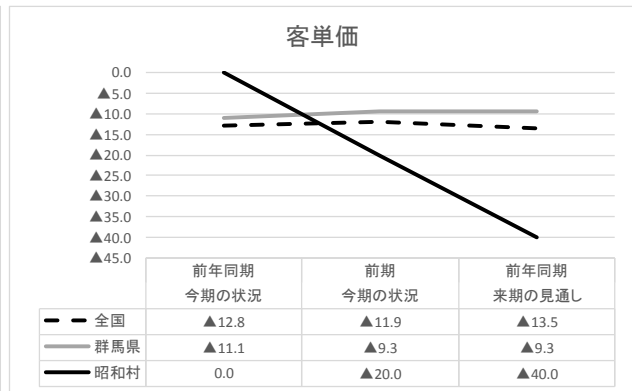
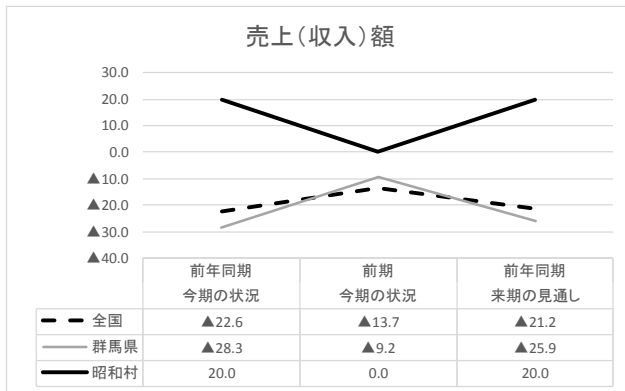
		新規設備投資										
		あり	投資内容									なし
			土地	工場建物	生産設備	車両・運搬具	付帯施設	OA機器	福利厚生施設	その他		
今期実施	全国	10.7	3.1	19.7	30.7	27.6	11.8	18.4	1.8	14.5	89.3	
	群馬県	10.5	0.0	25.0	25.0	50.0	0.0	0.0	0.0	25.0	89.5	
	昭和村	50.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	
来期計画	全国	11.9	5.5	24.5	28.9	24.1	19.0	17.0	1.6	12.3	88.1	
	群馬県	13.2	0.0	40.0	0.0	20.0	60.0	20.0	0.0	0.0	86.8	
	昭和村	0.0	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	

最後に、今期直面している経営上の問題点を見ると、全国と群馬県と同様「購買力の他地域への流出」、「消費者ニーズの変化」が高いが、昭和村では3位に「店舗の狭隘・老朽化」が入っている。

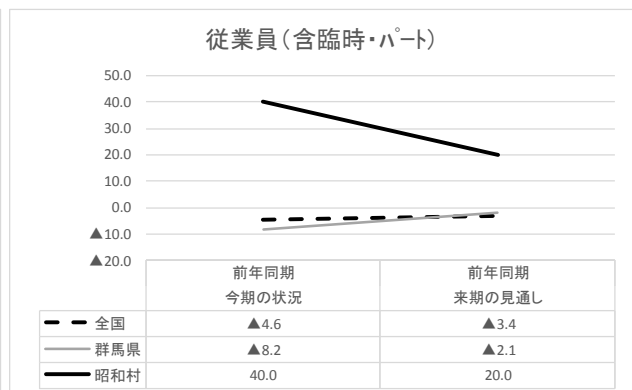
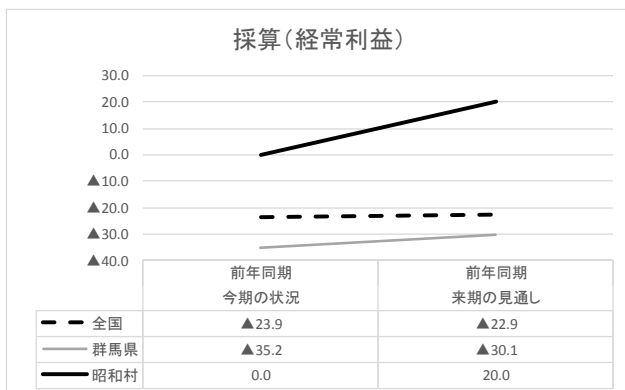
全国	1位	購買力の他地域への流出	46.3
	2位	消費者ニーズの変化	41.4
	3位	需要の停滞	40.8
群馬県	1位	消費者ニーズの変化	56.8
	2位	購買力の他地域への流出	37.8
	3位	販売単価の低下、上昇難	35.1
昭和村	1位	購買力の他地域への流出	50.0
	2位	消費者ニーズの変化	50.0
	3位	店舗の狭隘・老朽化	50.0

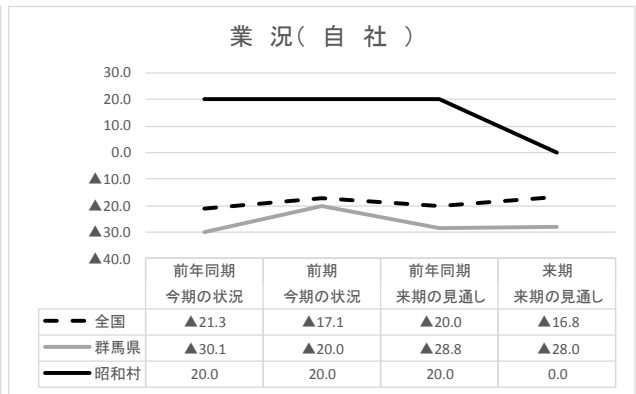
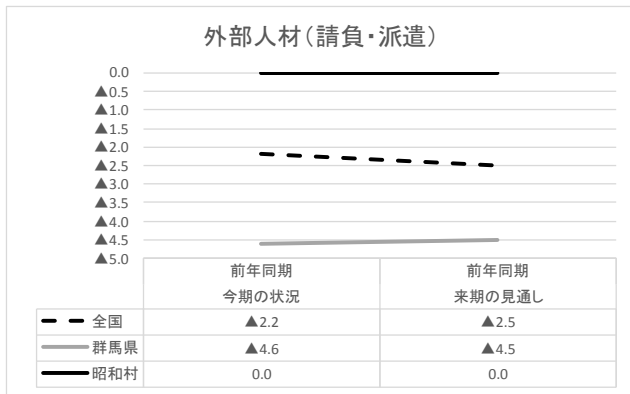
### 3.3.4 サービス業

売上高、利用客数、客単価、仕入単価は全国と群馬県に比べて景況感は良く見通しも良い。

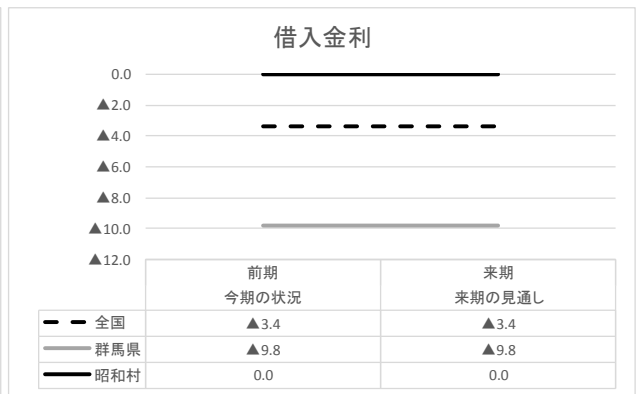
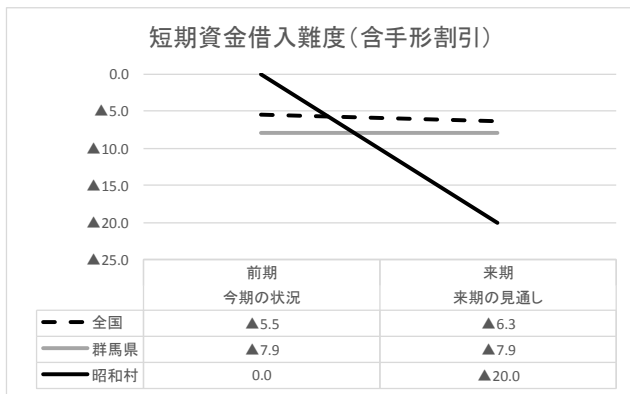
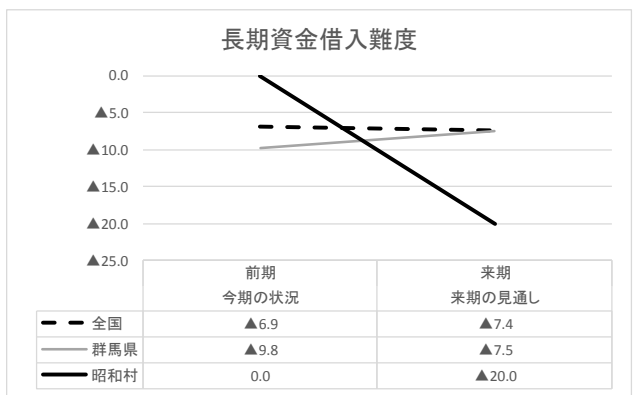
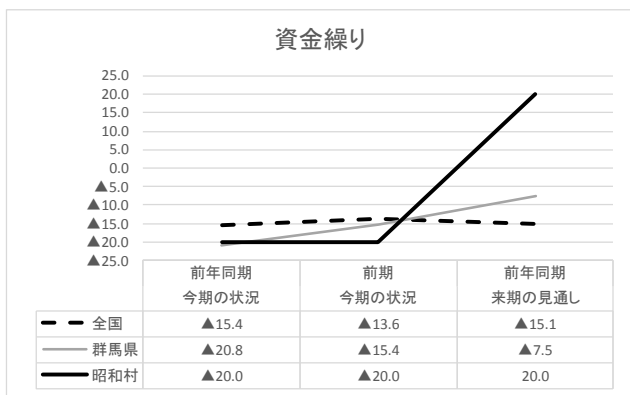


採算、従業員、外部人材、業況のすべての項目については、全国と群馬県に比べて良いが見通しは良くない。

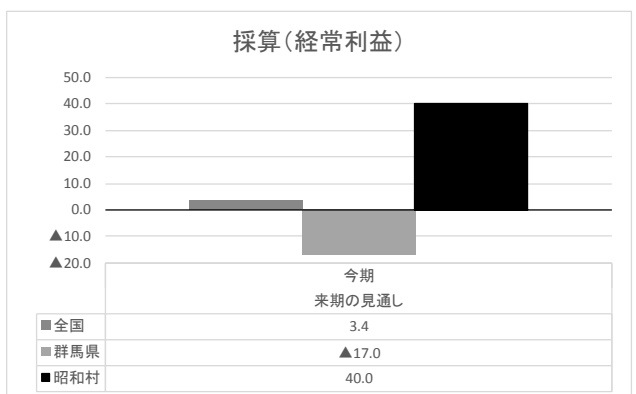
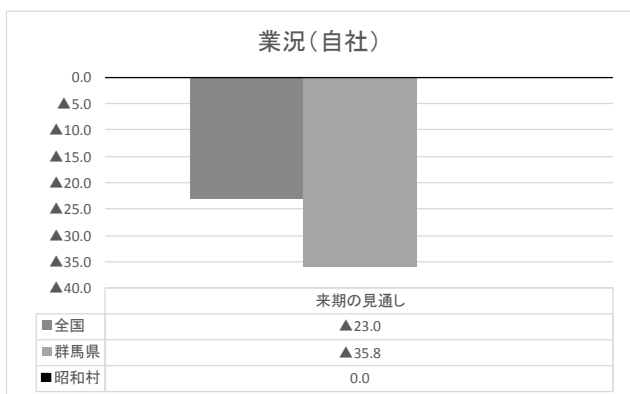


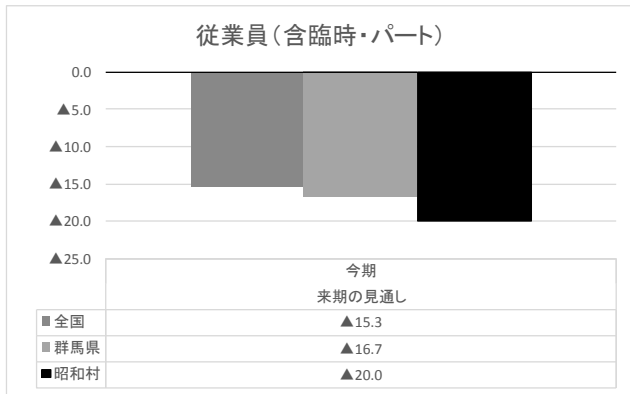


長期資金借入難度、短期資金借入難度、借入金利は全国と群馬県よりも見通しは悪いが、資金繰りは見通しがいい。



業況と採算は全国と群馬県に比べて良いが、従業員については全国、県より悪い。





新規設備投資について見ると、今期来期共「車両運搬具」、「工場建物」、「生産設備」が挙げられている。

		新規設備投資									なし
		あり	投資内容								
		土地	工場建物	生産設備	車両・運搬具	付帯施設	OA機器	福利厚生施設	その他		
今 期 実 施	全国	13.8	4.4	14.1	30.5	24.8	20.1	14.4	3.1	15.9	86.2
	群馬県	14.8	0.0	37.5	12.5	25.0	12.5	12.5	12.5	12.5	85.2
	昭和村	60.0	0.0	33.3	66.7	33.3	0.0	0.0	0.0	33.3	40.0
来 期 計 画	全国	13.2	6.6	21.7	34.3	23.9	14.8	12.1	2.5	15.9	86.8
	群馬県	18.9	20.0	30.0	40.0	10.0	10.0	10.0	0.0	20.0	81.1
	昭和村	80.0	0.0	33.3	66.7	33.3	0.0	0.0	0.0	33.3	40.0

最後に、今期直面している経営上の問題点を見ると、全国と群馬県では上位に挙がっていない「店舗施設の狭隘・老朽化」「大企業の進出による競争の激化」「利用者ニーズの変化」が挙げられている。

今期直面している経営上の問題点

全国	1位	利用者ニーズの変化	44.3
	2位	需要の停滞	39.9
	3位	材料等仕入単価の上昇	29.3
群馬県	1位	材料等仕入単価の上昇	43.1
	2位	利用者ニーズの変化	41.2
	3位	需要の停滞	27.5
昭和村	1位	店舗施設の狭隘・老朽化	100.0
	2位	大企業の進出による競争の激化	33.3
	3位	利用者ニーズの変化	33.3